

新たな海の再生に向けて

～豊饒な宝の海・伊勢湾の持続可能性を考える～

日時

平成27年**3月4日(水)**
13:00～17:30 開場12:30

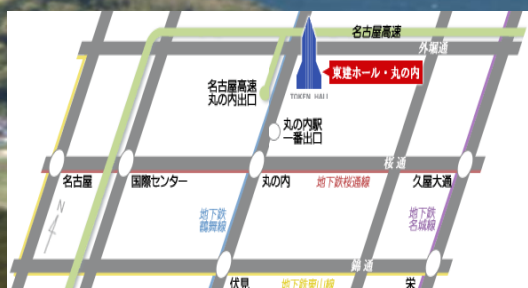
定員300名

場所

東建ホール・丸の内

名古屋市中区丸の内2丁目1番33号
地下鉄桜通線・地下鉄鶴舞線「丸の内」駅下車、1番出口より徒歩1分

参加
無料



伊勢湾を含む各湾の最新の取り組みやその成果の報告を行うとともに、平成28年度に最終年度を迎える「伊勢湾再生行動計画」の更なる推進と今後の展望に向けて、伊勢湾を生き物や資源に恵まれた豊饒な宝の海として取り戻すことを目指し、持続可能な資源の有効活用のあり方など、参加者全員で考えます。

出典：風景や花、ネイチャーフォトを無料でダウンロードできる壁紙写真館より伊勢市二見町から名古屋方面を望む

プログラム

12:30 開場

13:00 開会

13:05 挨拶

13:10 基調講演

「海洋環境の予測モデル(伊勢湾シミュレーター)の開発について」 名城大学大学院 特任教授 中田 喜三郎氏

13:55 休憩

14:05 話題提供

話題①「伊勢湾再生を実現するための課題」

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官 塩田 昌弘

話題②「三河湾におけるデッドゾーンの実態とその解消に向けて」

愛知県水産試験場 技師 曾根 亮太氏

話題③「伊勢湾の貧酸素水塊の現状と干潟藻場再生」

三重県水産研究所 主任研究員 国分 秀樹氏

話題④「浚渫土砂の活用方法について」

カルシア改質土研究会 技術委員長 中川 雅夫氏

話題⑤「海にかかわる環境学習のしくみづくり」～なごや環境大学を通じて～

日本福祉大学 教授 千頭 聡氏

15:15 休憩 提案書記入

15:35 第一部 新たな海の再生に向けて「各湾の取り組み」

【東京湾】東京湾再生のための行動計画(第二期)と新たな取り組み 関東地方整備局 港湾空港部 沿岸域管理官付 課長補佐 岡島 達男

【大阪湾】美しい「魚庭(なにわ)の海」大阪湾(行動計画Ⅱ期) 近畿地方整備局 企画部 技術企画官 藤原 敏晴

【広島湾】広島湾再生行動計画の第2回中間評価結果について 中国地方整備局 企画部 技術企画官 出路 康夫

【伊勢湾】伊勢湾再生行動計画の第2回中間評価結果について 中部地方整備局 企画部 広域計画課長 中村 和輝

質疑応答

16:40 休憩

16:50 第二部 豊饒(ほうじょう)な宝の海・伊勢湾の持続可能性を考えるセミナー

コーディネーター 名城大学大学院 特任教授 鈴木 輝明氏

17:30 閉会

「海の再生全国会議」
伊勢湾、東京湾、大阪湾、広島湾で「海の再生プロジェクト」に取り組んでいる関係省庁、関係自治体、研究機関、企業、NPO等が相互に情報共有を図り、各湾の取組の報告や話題提供、将来展望等について議論することで、各湾の取組推進のための一助とするために平成18年度から開催されています。

基調講演『海洋環境の予測モデル(伊勢湾シミュレーター)の開発について』

中田喜三郎氏 名城大学大学院 特任教授

海の再生に必要な施策とは何か、浅場・干潟造成や流入負荷の削減などの改善施策がどのような環境変化をもたらすのか、これらは日本の内湾における共通の課題である。海の再生のあり方を明らかにすべく、我々は最先端の知見を取り入れた海洋環境の予測モデル「伊勢湾シミュレーター」を開発した。

本講演では、伊勢湾シミュレーターの概要を紹介し、現状の伊勢湾の環境がどのようにして成り立っているのか、伊勢湾再生に効果的な改善施策など、伊勢湾シミュレーターの予測結果から明らかとなった話題を提供する。



～講師プロフィール～

【略歴】

1970年 東北大学大学院理学研究科地球物理専攻 修了 修士(理学)
1970年 通商産業省工業技術院公害資源研究所入所 (1997年3月まで)
最終ポスト 海洋環境予測研究室長
1997年 東海大学海洋学部教授として採用される。
2007年 海洋理工学会会長に選出される。
2010年 海洋理工学会会長再任
2011年 東海大学を退職
2011年 名城大学総合学術研究科特任教授として採用され、現在に至る。

【功績】

1993年 東海大学博士(工学)
1996年 科学技術庁長官賞(功労賞)
2006年 海洋理工学会 顕功賞
2008年 エンジニアリング振興協会功労賞

【主な専門分野】

海洋環境にかかわるモデリング、生態系モデル、流動モデル、化学物質運命モデル、オイルスピルモデル、放射性核種挙動モデル などの開発研究を行ってきた。特に工業技術院在職期間中は産業公害総合事前調査に関する現地調査、環境予測モデル開発全般について担当、指導を行ってきた。

第9回 海の再生全国会議 「新たな海の再生に向けて」

～豊饒な宝の海・伊勢湾の持続可能性を考える～

日時 平成27年3月4日(水) 13:00～17:30 開場12:30

場所 東建ホール・丸の内 名古屋市中区丸の内2丁目1番33号
地下鉄桜通線・地下鉄鶴舞線「丸の内」駅下車、1番出口より徒歩1分

定員 300名(先着順) ※定員に達した場合、お申し込みを締め切らせていただく場合がございます。

◆参加申込み方法◆

以下のいずれかの方法にてお申込みください。

① 下記URLまたは右のQRコードより参加フォームにアクセスし電子申請にてお申込みください。
<https://xb105.secure.ne.jp/~xb105036/umi-saisei.html> (📧 クリック)



(参加フォームQRコード)

② 下の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。
また、FAXでお申込みの場合は、当日会場に本申込書をご持参ください。

【参加申込書】 FAX:03-5408-8741 宛先:事務局 浅野・榎並

ふりがな 代表者氏名		所属 団体名	
TEL		FAX	
住所	〒		
E-mail			
同伴者氏名			

※ご記入いただきました個人情報は、本イベント参加に関する目的のみに使用し、それ以外に使用することはありません。

参加お申し込み締め切り 2月27日(金)

お問い合わせ先

『海の再生全国会議』事務局(担当:浅野・榎並)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-10虎の門電気ビル4F
一般財団法人みなと総合研究財団(内) TEL:03-5408-8297/FAX:03-5408-8741
e-mail:umi-saisei@wave.or.jp